

平成 25 年 11 月 18 日

B010「進行胃癌に対する術中腹腔内温熱化学療法」（滋賀医科大学医学部附属病院）についてのコメント

佐藤 雄一郎

本日の先進医療技術審査部会を欠席させていただきますので、書面にて、倫理的観点からコメントを提出させていただきます。

4. 同意に係る手続き、同意文書

5. 補償内容

について、全て「適」と判断いたしました。以下の点については、医学的な観点を踏まえての評価が必要であると思います。そのため、御議論をいただきましたらありがたく存じます。

当該技術について、施療後にイレウスが生ずることがあるようです。このイレウスが本技術から生ずるもので、その蓋然性が予見できるとすると、

(1) この健康被害の治療に健康保険を使い、一部負担金についても対象者負担とすることは妥当か

(2) 説明文書には「腸管熱傷」という副作用の記載があるか、この説明は妥当か。

以上